

来週の「売り物」記事はこれ



2012年11月16日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大型ルポシリーズ「S（ストーリー）」

スイス発 追跡！カーン博士の「核の闇市場」

朝刊 18日（日）



今から10年ほど前、明るみに出たカーン博士の「核の闇市場」事件。母国パキスタンで開発した核技術が、多額の報酬と引き換えに北朝鮮やイラン、リビアなどに渡っていたことは、世界中に衝撃を与えました。長年ナゾとされていたのが「禁断の犯罪」の発覚の経緯。カーン博士らはマレーシアに秘密工場を開設するなど、核ビジネスのネットワークを慎重にカムフラージュしながら作り上げていました。それが一気に瓦解した背景が次第に明らかになってきました。スパイ小説のような側近の裏切りがあったというのです。ベテラン国際報道記者が「核の闇市場」の真相に迫ります。



日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

缶詰でプロの味を出そう くらしナビ食べる面 20日（火）



非常食への関心の高まりや節約意識から、今「缶詰」が見直されています。そのままでも食べられますが、ひと手間をかければ豪華な一品に大変身します。震災をきっかけに缶詰を使った多くの節電レシピを考案した日本料理店「分とく山」（わけとくやま）の総料理長・野崎洋光さん＝写真＝に、驚きの缶詰料理を作っていただきました。

復興クルーズに乗ってみた くらしナビ生活面 21日（水）

東北の復興を願い、絆を深める「復興クルーズ」がこのほど行われました。日本最大の客船「飛鳥II」で横浜港と仙台港を往復したクルーズ。約750人が「訪れて」「食べて」「飲んで」「買って」で東北を応援しました。記者も乗船し、船内の交流イベントや観光ツアー、参加者の思いを取材しました。





日本人が古くから親しんできた畳。吸湿性や保温性に優れ、夏は涼しく冬は暖かく過ごせますが、汚れやすさや色あせが難点でした。最近ではデザイン性の高い縁なし畳や、いぐさを使わず新素材を採用した新しい畳が開発され、人気です。進化する畳事情取材しました。

企画「この国はどこへ行こうとしているのか」

連載 15 年再び語る 高村薫氏、山折哲雄氏

夕刊特集ワイド面 20 日 (火)、21 日 (木)



好評企画「この国は……」が始まって 15 年を迎える。15 年前の今ごろ、北海道開拓銀行や山一証券が破綻し、日本型式経営は終焉を迎えようとしていた。世紀が変わり、9・11、3・11。〈これから悪い時代になっていくという予感があった〉と 15 年前話した作家の高村薫さん=写真左=は今、「この国をどうしていくかという語りがないことに日本人は絶望している」と嘆く。宗教学者の山折哲雄さん=同右=は無情と犠牲をキーワードに語る。



次週の「売り物記事」は 22 日 (木曜日) の発行予定です。